

11 女性農業者や女性を雇用する農業者と課題解決を目指す

- 女性農業者、女性を雇用する農業者との意見交換を通じ、現場の課題の共有と課題解決に必要な支援を検討し、女性の農業参入及び定着を目指す。

○ きっかけ

福井県における基幹的農業従事者に占める女性の割合は29.5%（H31）と全国平均の40%（H31）を大きく下回っている。一方、農業を発展させていく上で、農業経営における女性参画が重要な役割を果たしている事例が多数あることから、女性の農業参入を促し、能力を発揮できる環境整備の重要性が高まってきている。

農林水産省でも「農業女子プロジェクト」を始めとして、女性活躍のための各種取組を推進しており、女性の農業参入と定着に向けて、女性農業者が抱える課題の汲み取りと課題解決に必要な支援の検討を行うため、関係者間での懇談会を開催した。



○ 取組の概要

坂井市内において、女性農業者、女性を雇用する農業者、国、県、市及び農業団体が一堂に会し、女性の農業参入及び定着に向けた課題と支援について意見交換を行い、情報共有を図った。



令和3年7月27日 坂井市内での意見交換の様子

○ 懇談会での意見・要望など

- ・ 女性でも扱いやすいスマート農機の導入支援や機械（アタッチメント）の軽量化などをお願いしたい。
- ・ 経営者として、細かな気配りの他、女性従業員の意見や要望を積極的に受け入れるよう心掛けています。
- ・ 消費者としての主婦や子育て等の経験や感覚が、女性の経営参画の上で重要であると後から気付いた。
- ・ 女性が経営の中核を担うことが、今後の女性参画の増加につながっていくため、女性の感性を活かせる環境作りとその後押しが重要。